エックス線届出事項

|  |
| --- |
| １　エックス線装置の製作者名、型式及び台数 |
|  | 　製作者名　型　　式　台　　数 |  |  |
| 　製造年月日 | 　　　年　　月　　日　　　　　 | 　　　　年　　月　　日 |
| 　装置の種類 | 　固定式（移動不可）　固定式（移動可能）　ポータブル | 　 固定式（移動不可） 固定式（移動可能） ポータブル |
| 　主な用途 |  撮影　・　透視　・　治療 |  撮影　・　透視　・　治療 |
| 設置時の状態 |  新品　・　中古品 |  新品　・　中古品 |
| 　設置年月日 |  　　年　　月　　日 |  　年　　月　　日 |
| ２　エックス線装置高電圧発生装置の定格出力 |
|  | 区　　　分長時間定格短時間定格蓄　電　式 | 　管電圧kVkVkV | 　管電流 　mA 　mA 　mA |  撮影時間　　－ 　　　秒　　－ | 管電圧kVkVkV | 管電流mAmAmA |  撮影時間 　　－ 　 秒 　　－ |
| ３　エックス線装置及びエックス線診療室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要　（１）エックス線装置の放射線障害の防止に関する構造設備の概要　　ｱ　エックス線装置の共通事項 |
|  | 　照　射　筒 | 　　　　有　・　無　 | 　　　　有　・　無 |
| 　絞　り | 　　　　有　・　無 | 　　　　有　・　無 |
| 線管容器、照射筒及び絞りの漏れ線量 | 線管の焦点から1mの距離　　　　　　　μGy／kg毎時　　　 　　mGy／kg毎時 | 線管の焦点から1mの距離　　　　　　μGy／kg毎時　　　　 　　　　 mGy／kg毎時 |
| 　総ろ過量 | 　　　　　　mmｱﾙﾐﾆｭｰﾑ当量 | 　　　　　　mmｱﾙﾐﾆｭｰﾑ当量 |
| 　　ｲ　透視用エックス線装置 |
|  | 透視用画像モニターの種類 | 蛍光板、ﾃﾚﾋﾞﾓﾆﾀｰ、ｲﾒ-ｼﾞｲﾝﾃﾝｼﾌｧｲｱ　その他（　　　　　　） | 蛍光板、ﾃﾚﾋﾞﾓﾆﾀｰ 、ｲﾒ-ｼﾞｲﾝﾃﾝｼﾌｧｲｱ、その他（　　　　　　　　） |
| 透視時間積算警告音発生ﾀｲﾏ- | 　　　　有　　・　　無 | 　　　　有　　・　　無 |
| 利用線すい可動絞り装置 | 　　　　有　　・　　無 | 　　　　有　　・　　無 |
| 蛍光板有効面積外照射防止装置 | 　　　　有　　・　　無 | 　　　　有　　・　　無 |
| 受像器通過後の放射線量 | 　　　　 μGy／kg毎時 | 　　　　 μGy／kg毎時 |
| 透視時最大照射野通過後の放射線量 | 　　　　 μGy／kg毎時 | 　　　　 μGy／kg毎時 |
| 蛍光板周囲と被照射体周囲の散乱線防護 | 　　　　　　有　・　無 |
| 　　ｳ　撮影用エックス線装置 |
|  | 利用線すい可動絞り装置 | 　　　　有　　・　　無 | 　　　　有　　・　　無 |
| 照射野の直径（口内法撮影用） | 　　　　 　　　 ｃｍ | 　　　　 　　 ｃｍ |
| ｘ線管焦点、被照射体から作業従事者までの距離（移動式携帯型並びに手術用ｘ線装置） | 　　　 ｍ | 　　　　 ｍ |
| 蛍光板有効面積外照射防止装置 | 　　　　有　　・　　無 | 　　　　有　　・　　無 |
| 蛍光板通過後の放射線量 | 線管の焦点から1mの距離　　　　　nGy／kg／時間以下 | 線管の焦点から1mの距離　　　　nGy／kg／時間以下 |
| 蛍光板周囲と被照射体周囲の散乱線防護 | 　　　　　　有　・　無 |
| ｴ　治療用エックス線装置 |
|  | 利用線すい可動絞り装置 | 　　　　有　　・　　無 |
| ろ板保持装置(ｲﾝﾀﾛｯｸ) | 　　　　有　　・　　無 |
| （２）エックス線診療施設の放射線障害の防止に関する構造設備の概要 |
|  | 1週間の延べ撮影枚 | 　　　　　　回 | 1週間の延べ透視時間 | 　　　　　時間 |
| 診療施設の構造等 | 独立家屋（　階建て）、ﾏﾝｼｮﾝ又はｱﾊﾟｰﾄ等の集合住宅（　階建て　階）耐火構造（　　　）、木造、木造ﾓﾙﾀﾙ又はﾌﾟﾚﾊﾌﾞ、その他 |
| エックス線診療施設の概要 | 　形態操作室の有無 | 　エックス線診療室専用の室、　診療室と兼用の室、手術室と兼用の室、その他（　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 　　　　　　有　　・　　無 |
| 診療室の遮へい物の概要 | 　区　　　分 | 　材　料 | 厚　さ | 　　放射線防護に関する措置 |
| 　天　　　井  |  |  |  |
| 　　　床 |  |  |  |
| 周囲の遮へい物等を含む | 東　側 |  |  |  |
| 西　側 |  |  |  |
| 南　側 |  |  |  |
| 北　側 |  |  |  |
| 出入り口の扉 |  |  |  |
|  | 診療室の壁等の外側における最大放射線量 | エックス線診療専用の室　　　　　　ﾐﾘｼｰﾍﾞﾙﾄ／Wエックス線診療兼用の室　　　　　　ﾏｲｸﾛｼｰﾍﾞﾙﾄ／時間 |
| 　　標識の有無 | 有　・　無 | 注意事項の掲示 | 　　有　・　無 |
| 　（３）エックス線診療室における放射線障害の防止に関する予防措置の概要 |
|  | 　管　理　区　域 | 管理区域の境界における最大放射線量 | 1ｾﾝﾁﾒｰﾄﾙ線量当量　　　　　　　　　ﾐﾘｼｰﾍﾞﾙﾄ／週間　以下 |
| 立入制限措置 | 遮へい物（材質等）による区画、白線による区画、その他（　） |
| 　標識の有無 | 　　有　・　無 |
| 敷地内の住居区域及び敷地の境界 | 人が居住する区域における最大放射線量 | 1ｾﾝﾁﾒｰﾄﾙ線量当量　　　　　　　　　ﾏｲｸﾛｼｰﾍﾞﾙﾄ／3ヶ月間　 |
| 敷地の境界における最大放射線量 | 1ｾﾝﾁﾒｰﾄﾙ線量当量　　　　　　　　　ﾏｲｸﾛｼｰﾍﾞﾙﾄ／3ヶ月間　 |
| その他 | 診療施設の見取り図 | 　　別　　添 |
| エックス線装置を使用する室の遮へい物等の配置状況 | 　　別　　添 |
| 　（４）その他の放射線障害の防止に関する予防措置の概要 |
|  | 防護用具の保有状況 | 　防護手袋（　　　対）、防護エプロン（　　　人分）、その他（　　　　） |
| エックス線従事者等の放射線測定用具の保有状況 | ﾌｨﾙﾑﾊﾞｯｼﾞ（　個）、ﾎﾟｹｯﾄ線量計（　個）、熱ﾙﾐﾈｯｾﾝｽ線量計（　個）ﾙｸｾﾙﾊﾞｯｼﾞ（　個）その他（名称　　　　　　　数量　　　） |
| エックス線診療等の放射線測定器の保有状況 | 　　有　　・　　無（測定器名　　　　　　　　　　　　　　　数量　　　　） |
| 線量測定方法 |  実測　・　計算 測定器名（　　　　　　　　　　　　　　） |
| その他の措置（健康診断等） |  |
| ４　エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴 |
|  | 　氏　　　　名 | 年　齢 | 　　　　　　エックス線診療に関する経歴 |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 　※注意事項　　電離放射線漏えいエックス線量測定報告書を添付してください。 |